



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 常磐興産株式会社

上場取引所 東

コード番号 9675 URL <http://www.joban-kosan.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 一志

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部担当 (氏名) 藁谷 哲也

TEL 0246-43-0569

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,451	12.4	36		47		0	
2024年3月期第1四半期	3,070	22.7	90		45		68	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 183百万円 (45.3%) 2024年3月期第1四半期 334百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	0.07	
2024年3月期第1四半期	7.75	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	48,495	10,849	22.3
2024年3月期	48,319	10,667	22.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 10,813百万円 2024年3月期 10,632百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年3月期の期末配当につきましては未定であります。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	5.2	1,200	11.4	1,080	20.3	900		102.47
通期	15,600	4.8	1,330	0.5	1,020	17.3	1,040	11.3	118.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	8,808,778 株	2024年3月期	8,808,778 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	26,194 株	2024年3月期	26,118 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	8,782,609 株	2024年3月期1Q	8,783,023 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結会計年度における我が国経済は、インバウンド需要が好調に推移する中、設備投資や雇用情勢に改善の動きが見られたものの、円安の進行、世界的な金融引き締め、物価上昇等により依然として先行き不透明な状況にて推移いたしました。

観光事業につきましては、底堅い国内旅行需要の回復基調にも支えられ、スパリゾートハワイアンズの利用者が日帰り・宿泊ともに増加いたしました。

燃料商事事業につきましては販売数量が減少し減収となりました。

製造関連事業につきましては、船舶用モーターの販売数量が大幅に増加し増収となりました。

運輸業につきましては堅調に推移し、アグリ事業につきましては積極的な営業活動により販売数量が増加し営業損失が縮小いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は34億51百万円（前年同期比3億81百万円、12.4%増）、営業利益は36百万円（前年同期は営業損失90百万円）、経常利益は47百万円（前年同期は経常損失45百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は0百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失68百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### [観光事業]

スパリゾートハワイアンズにつきましては、専属ダンサー「フラガール」を養成する常磐音楽舞踊学院の創立60周年を記念し、4月より福島県内全59市町村を対象に各市町村の小学校1校をフラガールが訪問し出前授業を行うプロジェクト「フラガールきずなスクール2024」を開始いたしました。

イベントにつきましては、ゴールデンウィーク期間中に、幅広い世代に人気のある歴代のプリキュアや仮面ライダーが集結するステージショー「GW!東映キャラクターショーinハワイアンズ」を開催いたしました。5月には第31回ファイヤーナイフダンス世界選手権に出場したファイヤーナイフダンスチーム「シバオラ」のムア史弥が世界2位入賞を果たし、6月に凱旋公演を開催いたしました。また、スマートフォンゲーム「あんさんぶるスターズ!!!」とのコラボレーションキャンペーンにより、新たな顧客層の獲得を図りました。

宿泊者向けサービスにつきましては、引き続き食のサービス向上につとめ、全てのホテル（ホテルハワイアンズ、ウイルポート、モノリスタワー）において夕朝食メニューの品質向上及びソフトドリンクバーの無料化を行いました。また、コロナ禍を機に開始した「世界最大級の露天風呂『与市』やポリネシアンショーの貸切プラン」については好評であることから継続実施し、新たに平日需要に応える「館内利用クーポン券付」など多様な旅行プランを提供いたしました。

上記施策の効果もあり、施設入場者は210千人（前年同期比25千人、13.9%増）となり、宿泊者は82千人（前年同期比9千人、12.7%増）となりました。

スパリゾートハワイアンズ・ゴルフコースは、昨年9月の豪雨被害により2コース18ホールで営業し、利用人員は7千人（前年同期比2千人、21.9%減）となりました（2024年6月時点で中コース9ホールは休止中）。

グランピング施設マウナヴィレッジは、ウォータースライダー乗り放題等のアクティビティ付プランの販売を行い、利用人員が1千人（前年同期比0千人、3.8%増）となりました。

この結果、当セグメントの売上高は23億38百万円（前年同期比2億80百万円、13.6%増）、営業利益は2億16百万円（前年同期比1億29百万円、149.2%増）となりました。

#### [燃料商事事業]

石炭部門につきましては、電力会社向けの販売数量が増加いたしましたものの、一般産業向けの販売数量が減少し減収となりました。石油部門につきましては、販売数量が減少いたしましたものの、価格改定に伴い、増収となりました。

資材部門につきましては堅調に推移いたしましたものの、発電部門につきましては販売数量が減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は1億48百万円（前年同期比36百万円、19.9%減）、営業利益は51百万円（前年同期比45百万円、47.3%減）となりました。

#### [製造関連事業]

建設機械向け鋳鉄製品及び船舶用モーターにつきましては、特に国内向け船舶用モーターの需要が大幅に伸びたことにより販売数量が増加し増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は4億76百万円（前年同期比1億28百万円、36.8%増）、営業利益は49百万円（前年同期比43百万円、849.2%増）となりました。

## [運輸業]

港湾運送部門につきましては、発電所向け石炭輸送が増加いたしましたもののセメント輸送の減少により減収となりました。

石油小売部門につきましては、重油等の販売数量の増加に加え、原油価格の高騰や円安基調もあり増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は4億39百万円（前年同期比1百万円、0.3%減）、コストの削減等により、営業利益は25百万円（前年同期比15百万円、165.3%増）となりました。

## [アグリ事業]

アグリ事業につきましては、昨年の苗の植え替え時期における高温の影響が未だ残っており売上は当初の計画には及ばなかったものの、大型量販店への年間契約販売の増加並びに経費コントロールにより、前年同期比増収となり、営業損失が縮小いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は49百万円（前年同期比10百万円、27.9%増）、営業損失は17百万円（前年同期は営業損失37百万円）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加し、484億95百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金、投資有価証券が増加したことによるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、376億45百万円となりました。これは主に、流動負債その他が増加したものの、支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金が増加したことによるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億82百万円増加し、108億49百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想につきましては、2024年5月15日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,097	4,321
受取手形及び売掛金	2,187	3,063
棚卸資産	641	606
その他	276	170
流動資産合計	8,202	8,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,335	10,303
土地	14,930	14,930
その他（純額）	2,111	2,063
有形固定資産合計	27,377	27,297
無形固定資産	70	58
投資その他の資産		
投資有価証券	6,460	6,770
投資不動産（純額）	5,746	5,745
退職給付に係る資産	193	201
繰延税金資産	31	27
その他	1,172	1,169
貸倒引当金	△936	△936
投資その他の資産合計	12,668	12,978
固定資産合計	40,116	40,333
資産合計	48,319	48,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,781	1,635
短期借入金	4,162	4,027
未払法人税等	153	25
賞与引当金	369	334
災害損失引当金	101	89
その他	1,996	2,629
流動負債合計	8,565	8,741
固定負債		
長期借入金	24,808	24,574
繰延税金負債	2,047	2,136
退職給付に係る負債	43	43
資産除去債務	542	544
その他	1,644	1,605
固定負債合計	29,086	28,904
負債合計	37,652	37,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	3,395	3,395
利益剰余金	3,274	3,274
自己株式	△39	△39
株主資本合計	8,771	8,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,904	2,097
繰延ヘッジ損益	—	△12
土地再評価差額金	△2	△2
退職給付に係る調整累計額	△41	△39
その他の包括利益累計額合計	1,860	2,042
非支配株主持分	34	36
純資産合計	10,667	10,849
負債純資産合計	48,319	48,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,070	3,451
売上原価	2,451	2,622
売上総利益	619	829
販売費及び一般管理費	710	793
営業利益又は営業損失(△)	△90	36
営業外収益		
受取利息	0	—
受取配当金	146	71
持分法による投資利益	—	54
不動産賃貸料	28	27
その他	15	3
営業外収益合計	190	156
営業外費用		
支払利息	119	122
持分法による投資損失	6	—
不動産賃貸費用	13	14
その他	5	7
営業外費用合計	145	145
経常利益又は経常損失(△)	△45	47
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資不動産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	0	5
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△45	43
法人税、住民税及び事業税	2	12
法人税等調整額	20	30
法人税等合計	22	42
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△67	0
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68	△0



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△67	0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	400	192
繰延ヘッジ損益	—	△12
退職給付に係る調整額	1	1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	402	182
四半期包括利益	334	183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334	181
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	観光事業	燃料商事 事業	製造関連 事業	運輸業	アグリ事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,057	185	348	440	38	3,070	—	3,070
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	2	—	9	1	13	△13	—
計	2,057	188	348	449	40	3,084	△13	3,070
セグメント利益又は 損失(△)	86	97	5	9	△37	161	△252	△90

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△252百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△252百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	観光事業	燃料商事 事業	製造関連 事業	運輸業	アグリ事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,338	148	476	439	49	3,451	—	3,451
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	4	—	10	2	18	△18	—
計	2,338	153	476	449	52	3,470	△18	3,451
セグメント利益又は 損失(△)	216	51	49	25	△17	324	△288	36

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△288百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△288百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	357百万円	313百万円